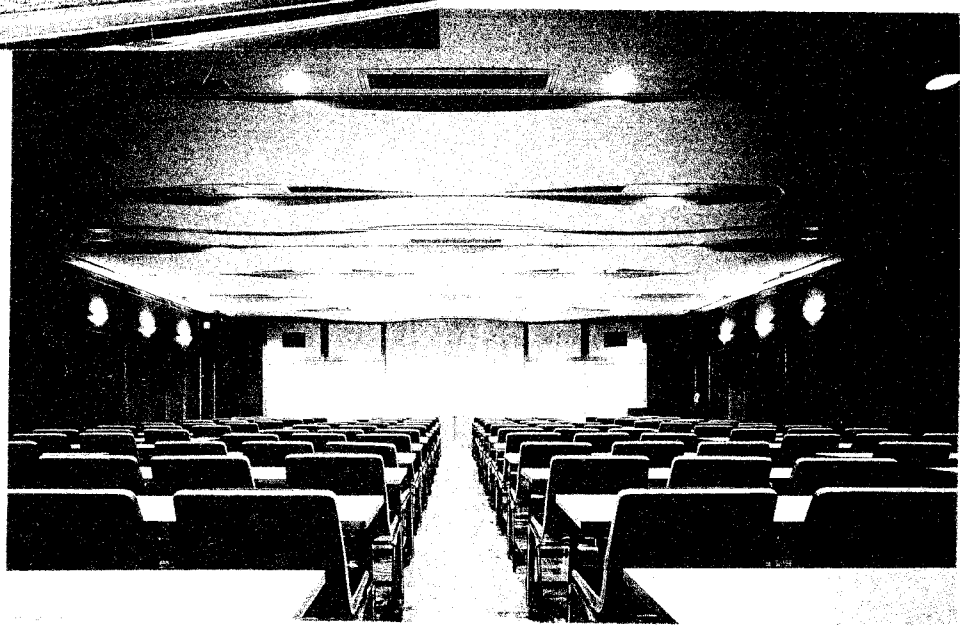
平成10年度

相模原市立博物館年報



平成11年8月1日
相模原市立博物館

平成10年度　　相模原市立博物館年報

I　管理運営

1　組織及び職員

（1）組織と事務分掌

館長
- 副館長
  - 管理係（3）
    - 博物館運営の調査研究に関すること
    - 博物館の維持管理及び秩序保持に関すること
    - 博物館の利用承認等利用に関すること
  - 学芸班（10）
    - 博物館資料の収率、整理、保管、展示及び調査研究に関すること
    - 博物館資料の利用に関する説明、指導及び調査研究に関すること
    - 博物館の各種事業の実施に関すること
    - 他の博物館等との連絡、協力、情報の交換及び博物館資料の相互貸借に関すること
    - 図書館その他教育、学術又は文化に関する諸施設との協力及びその活動の援助に関すること
    - 市史に関すること。
- 相模原市立博物館協議会

（2）職員（平成10年3月31日現在）

館長（非常勤）		神崎　彰利	
副館長		安立　武晴	
管理係	係　長	細谷　浩	
	主　任	鉢村　敏雄	
	主　事	志田久仁子	
学芸班	副主幹（学芸員）	杉本　芳秋	（天文担当）
	主査（社会教育主事）	守屋　博文	（動物担当）
	主　査（学芸員）	浜田　弘明	（地理担当）
	指導主事	福田　茂	（天文担当）
	主　任（学芸員）	加藤　隆志	（民俗担当）
	主　任（学芸員）	木村　衡	（考古担当）
	主　任（学芸員）	笠原　正則	（天文担当）

主　事　　方波見　淳　（情報担当）
主　事（学芸員）　　草薙　由美　（歴史担当）
主　事（学芸員）　　金井　憲一　（地質担当）

＊なお、受付案内業務は（財）相模原市都市整備公社に委託し９名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は（株）東急コミュニティーに委託し４名が配属されている。

２　博物館協議会

（１）委員（平成９年11月20日現在）

氏　名	備　考
巣内　則男	市立弥栄小学校教諭
土屋　精一	市立大野南中学校教諭
池田　高明	県立大沢高等学校教諭
平賀　友子	市社会教育委員代表
関山　強	市文化協会代表
香村　紘一	会長・市文化財研究協議会代表
伊藤久美子	市立小中学校PTA 連絡協議会代表
長田かな子	地域史研究家
高橋　秀男	副会長・県立生命の星地球博物館嘱託
水谷　仁	文部省宇宙科学研究所教授

（２）会議

開　催　日	おもな内容
第１回 平成10年５月27日	平成９年度事業報告について 平成10年度予算及び事業予定について 諮問事項の検討、企画展見学ほか
第２回 平成10年８月５日	諮問事項の検討、視察研修打ち合わせ 夏季特別展見学ほか
第３回 平成10年11月25日	平塚市博物館視察研修 博物館協議会の会議公開について
第４回 平成11年２月17日	先進都市実践例講演（川崎市青少年科学館館長若宮崇令氏）、会議公開に向けての規定制定 企画展見学ほか

3　施　設

（1）施設概要

・敷地面積　　9,999.48㎡

・構造　　鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造

・規模　　地下1 階・地上3 階建て

・建築面積　　5,081.03㎡

・延床面積　　9,510.24㎡

（2）施設管理

・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。

・消防訓練　平成10年5月12日（臨時休館日）、10月20日（臨時休館日）、平成11年1月27日（平日）

4　予算

平成10年度予算

（単位：千円）

款	項	目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比　較	財源内訳
50	20	40	博物館費	880,713	924,717	-44,004	特定財源　16,577 （特財内訳） その他　16,577 一般財源　864,156

節		説　明		
区　分	金　額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1報酬	4,004	経費内訳	10年度	9年度
8報償費	9,715	1博物館協議会経費	449	530
9旅費	993	2施設運営費	132,160	138,397
11需要費	94,806	（1）資料収集保存経費	6,811	6,767
12役務費	1,058	（2）資料調査研究経費	5,932	6,160
13委託料	196,357	（3）展示・教育普及事業経費	23,425	27,049
14使用料及び賃借料	38,888	（4）プラネタリウム事業経費	91,365	93,579
17公有財産購入費	500,000	（5）その他運営費	4,627	4,842
18備品購入費	2,265	3施設維持管理費	210,016	214,983
19負担金、補助及び交付金	118	4施設維持補修費	5,000	5,000
23償還金、利子及び割引科	32,500	5博物館用地購入事業（債務負担行為）	532,500	565,000
27公課費	9	6一般事務費	588	807
		合　計	880,713	924,717

Ⅱ　教育普及

1　入館者数

（1）平成10年４月１日～平成11年３月31日

総計　１０７，３０６人

（2）各月ごとの詳細は、次のとおり。

平成11年3月31日現在

相模原市立博物館入館者統計

月	入館者総数	プラネ総数	一般投影計	全天周映画	学習投影計	特別展総数	星空観望会	講座講演会	プラネ観覧料	1日平均
10年4月	6,774	3,047	1,394	1,450	203	943	61	33	1,001,460	271
5月	10,899	4,341	2,117	2,224	0	5,298	79	510	1,595,560	419
6月	8,926	3,520	1,220	1,317	983	2,897	13	227	899,940	357
7月	10,838	5,546	2,129	2,072	1,345	934	0	745	1,390,440	401
8月	14,362	7,022	3,926	3,096	0	3,031	60	439	2,393,620	552
9月	9,629	2,808	1,422	1,114	272	2,860	0	772	931,900	401
10月	10,013	3,201	1,304	1,455	442	2,680	101	293	957,160	385
11月	11,132	5,793	1,382	1,318	3,093	0	84	596	978,200	428
12月	4,661	1,959	526	558	875	0	31	152	397,900	203
11年1月	6,432	2,692	1,008	1,256	428	1,108	37	23	822,900	268
2月	6,712	2,480	995	837	648	2,894	38	399	673,160	292
3月	6,928	2,629	1,154	1,050	425	2,134	47	300	778,660	266
10年度計	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	551	4,489	12,820,900	356
総計	417,093	184,678	80,876	67,061	36,741	112,048	3,510	11,678	54,341,420	

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	11,099,520	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	18,187,120	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	12,233,880	351

２　特別展・企画展・収蔵品展

（１）企画展「第１回相模原市遺跡展」

ア　内　容　塩田遺跡群の資料紹介と田名向原遺跡のミニシンポを開催。

イ　期　間　平成10年４月26日～６月21日

ウ　観覧料　無料

エ　入場者　9,138人

オ　出版物　パンフレット（頒布価格 200円）、ポスター

カ　ｷﾞｬﾗﾘｰﾄｰｸ　５月24日、６月14日、参加者延べ44人

（２）特別展「相模原が海だったころ」

ア　内　容　「中津層群」産出の化石を中心に展示。

イ　期　間　平成10年７月18日～８月30日

ウ　観覧料　大人 300円・小中学生 100円

エ　入場者　3,965人（うち有料大人 2,120人・小人 1,174人）

オ　出版物　図録（頒布価格 800円）、ポスター、チラシ

カ　講演会　７月26日、テーマ「神奈川の化石」、参加者40人

（３）特別展「浮世絵名品展～春信・歌麿・豊国・北斎・広重～」

ア　内　容　県立歴史博物館所蔵の丹波コレクション等を展示。

イ　期　間　平成10年９月10日～10月11日

ウ　観覧料　大人 300円・小中学生 100円

エ　入場者　5,540人（ うち有料大人 4,502人・小人 200人）

オ　出版物　図録（頒布価格 1,800円）、ポスター、チラシ

カ　講演会　９月27日、テーマ「浮世絵の歴史と魅力」、参加者 112人

（４）企画展「現代の時報～時をはかる、その今と昔～」

ア　内　容　時報システム、水晶時計、原子時計、天文時計等の展示。

イ　期　間　平成11年１月24日～３月22日

ウ　観覧料　無料

エ　入場者　6,136人

オ　出版物　パンフレット、ポスター、チラシ

カ　講演会　２月21日、テーマ「時刻と私たちの生活」、参加者44人

（５）収蔵品展「描かれた１２０年前の神奈川～迅速測図の世界～」

ア　内　容　当館所蔵の「迅速測図」及び「迅速測図原図復刻版」を公開。

イ　期　間　平成10年10月24日～平成11年１月10日

ウ　観覧料　無料

エ　入場者　9,200人

オ　出版物　チラシ

カ　講演会　11月３日、テーマ「地形図から景観を読む」、参加者54人

3　講座・観望会・その他の事業

・講座

（1）田名向原遺跡シンポジウム

ア　内　容　　調査成果を速報すると同時に学問的課題について提供。

イ　実施日　　平成10年5月5日

ウ　参加人数　191人

（2）遺跡見学会

ア　内　容　　当麻亀ノ甲遺跡の見学をして、理解を深めた。

イ　実施日　　平成10年5月10日

ウ　参加人数　14人

（3）自然観察会「初夏の河原や水田を観察しよう」

ア　内　容　　河原の石や動植物、段丘崖に見られる地層などを観察する。

イ　実施日　　平成10年5月24日

ウ　参加人数　14人

（4）歴史教養講座「古文書から見る事件の諸相」

ア　内　容　　相模原周辺で起きた様々な事件の真相と側面を探る。

イ　実施日　　平成10年6月6日から3月6日まで全10回

ウ　参加人数　延べ 1,512人

（5）古文書解読講座（中級編）「古文書を読み解く」

ア　内　容　　古文書を読む段階から一歩進んで、自らの力で内容を解釈することについて学ぶ。

イ　実施日　　平成10年6月27日から7月25日まで全5回

ウ　参加人数　延べ 231人

（6）動物講座「地域の自然を調べよう~セミのぬけがら調査~ 」

ア　内　容　　セミのぬけがらを調べ、セミの分布や地域の自然を明らかにする。

イ　実施日　　平成10年7月19日から9月27日まで全5回

ウ　参加人数　延べ68人

（7）ワークショップ「化石を調べよう」

ア　内　容　　中津層産出の化石についての発掘と調査（室内）。

イ　実施日　　8月9日

ウ　参加人数　40人

（8）天文「夏休み親子天文教室」

ア　内　容　　ミニプラネタリウム制作を通して、天文に対する興味・理解を深めるとともに親子の絆を育む。

イ　実施日　　平成10年7月25日から8月9日まで全2回

ウ　参加人数　112人

（9）民俗「酒まんじゅう作り教室」

ア　内　容　　地域の伝統食である、酒まんじゅうの作り方について学ぶ

イ　実施日　　平成10年８月５日、８日（全２回）

ウ　参加人数　延べ58人

（10）自然観察会「雑木林の生き物を観察しよう」

ア　内　容　　雑木林を歩きながら、森に住む生き物たちを観察。

イ　実施日　　平成10年９月12日

ウ　参加人数　16人

（11）浮世絵講座「浮世絵の基礎知識」

ア　内　容　　浮世絵の見方、製作方法など浮世絵の基礎知識を学ぶ。

イ　実施日　　平成10年９月19日、10月10日（全２回）

ウ　参加人数　207人

（12）地理講座「地域の変遷を調べるⅢ」

ア　内　容　　実習やフィールドワークを通し、地図づくりの手法を習得する。

イ　実施日　　平成10年10月17日から11月７日まで全５回

ウ　参加人数　延べ 116人

（13）天文講座「流星群観測講座」

ア　内　容　　３３年ぶりのしし座大流星群の観察を通じて天文現象に理解を深める。

イ　実施日　　平成10年11月８日から11月29日まで全４回

ウ　参加人数　延べ 106人

（15）民俗講座「フィールドワーク入門」

ア　内　容　　現地を自ら歩きながら様々な問題を調べていくフィールドワークについて学ぶと同時に、実際に２地区を歩く。

イ　実施日　　平成10年11月21日から12月13日まで全５回

ウ　参加人数　延べ 117人

（16）自然観察会「境川を歩こう」

ア　内　容　　境川の様子や野鳥、付近の草地・樹林の生き物を観察。

イ　実施日　　平成10年11月23日

ウ　参加人数　11人

（17）地質学講座「顕微鏡で探る大地の生い立ち」

ア　内　容　　顕微鏡による観察を主体とした実習及び地域の地形史を考える。

イ　実施日　　平成11年２月21日から３月14日まで全４回

ウ　参加人数　延べ73人

（18）自然観察会「春を待つ雑木林を観察しよう」

ア　内　容　　春に向けて活動を始める動植物の様子及び地層などを観察。

イ　実施日　　平成11年３月13日

ウ　参加人数　10人

（19）民俗学講演会「近世相模原の庶民と信仰」

ア　内　容　　遊行僧徳本と高野山の信仰が相模原に与えた影響を知る。

イ　実施日　　平成11年３月13日、22日（全２回）

ウ　参加人数　延べ 227人

・観望会

（１）星空観望会

ア　内　容　　季節に応じた天体の観測により天文知識の普及を図る。

イ　実施日　　平成10年４月３日から３月５日まで毎週金曜日（全18回）

ウ　参加人数　延べ 551人　※雨天・曇天時等中止

（２）しし座流星群講座

ア　内　容　　この天体現象に広く親しみ一層の興味を深めるための説明会。

イ　実施日　　10年11月17日

ウ　参加人数　　173人

・その他の事業

（１）糸取り・機織り実演会

ア　内　容　　糸取り・機織りの方法を見学をするとともに実際に体験する。

イ　実施日　　平成10年７月19日、20日

ウ　参加人数　延べ 250人

（２）夏休み子ども学習相談

ア　内　容　　小・中学生を対象に夏の自由研究等のアドバイスをする。

イ　実施日　　平成10年８月１日から８月31日

ウ　参加人数　延べ87人

（３）浮世絵摺り実演会

ア　内　容　　現在でも行われている浮世絵摺りの方法について見学する。

イ　実施日　　平成10年９月23日

ウ　参加人数　　300人

4　プラネタリウム・全天周映画

（1）10年度観覧者合計45,038人

※投影内容別は以下記。月別の観覧者については4ページ参照。

（2）一般投影

ア　内　容　解説員による季節の星空説明と企画番組で構成（所要約50分）

番　組　名	投　影　期　間
宇宙誕生	（平成10年3月5日）　～6月7日
天の川への招待	平成10年6月14日～9月6日
宇宙に挑んだ飛行士たち	平成10年9月12日～12月6日
宇宙の浜辺で…	平成10年12月12日～11年3月7日
はるかなる月をめざして	平成11年3月13日～　（6月13日）

イ　投影時間　平日…午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午後1時50分と3時50分

ウ　観覧者　18,577人

（3）全天周映画

ア　内　容　大型フィルム使用の映画作品を上映（所要約50分）

番　組　名	上　映　期　間
リング・オブ・ファイヤー	（平成9年10月25日）　～10年4月19日
ホエールズ	平成10年4月22日～10年10月18日
コズミック・ボヤージュ	平成10年10月24日～　（11年4月18日）

イ　上映時間　平日…午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午前10時50分と午後2時40分

ウ　観覧者　17,747人

（4）学習投影

ア　内容　小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品　小学校6年生向け「星の動きと月の影」

小学校4年生向け「太陽系のなかまたち」

幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」

イ　投影時間　事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ　観覧者　8,714人

（5）プラネタリウム夜間投影

小中学校の春休み・夏休み期間の毎週金曜日に限り、午後6時からもプラネタリウムを投影した。投影回数5回、観覧者計47人

（6）出版物

プラネタリウム案内A5パンフレット、B2ポスター…各投影番組別に作成

5　その他

（１）情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数　計１，７０６本

（２）収蔵資料の「ミニ展示」

特別展・企画展の開催期間外に、特別展示室前で資料の展示を行った。

春を告げる虫－蝶－、機織り、スバルと隕石

6　学校と博物館の連携を進める研究会

学校教育での幅広い学習活動のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図るための連携のあり方を研究・協議した。

（１）委員（平成10年度）

氏　名	備　考
小川　久治	委員長・旭中学校教諭
吉田　彰宏	大野台中学校教諭
川上　孝生	大野北中学校教諭
鹿戸　陽子	大野台中央小学校教諭
桝岡　寿江	上溝小学校教諭
塚原　健	大沢小学校教諭
堀江　春男	磯野台小学校教諭
岡田　武	鹿島台小学校教諭

（２）会議

開催日	主な内容
第一回 平成10年10月30日	委員委嘱式および研究会の方向性の検討
第二回 平成10年12月４日	平成10年度の学校利用の現状と課題の検討
第三回 平成11年１月26日	新教育課程に向けての条件整備の検討

7　広報・出版

（１）刊行物

ア　特別展・企画展の図録・パンフレット・ポスター　…各４種（前掲）

イ　収蔵品展のポスター・ちらし　…各１種（前掲）

ウ　プラネタリウム及び全天周映画案内パンフレット・ポスター　…計６種（前掲）

エ　博物館ＮＥＷＳ（Ｖｏｌ．１１～Ｖｏｌ．１４）

オ　特別展・企画展図録

「新発見・遺跡は歴史を変える」「相模原が海だったころ」

「浮世絵名品展」

カ　報告書等

「研究報告第８集」「地図資料目録Ｉ・相模原市作成の地図」
「大島の自然と文化」

（２）有償刊行物一覧（平成10年3月末現在）

有償刊行物については、博物館と市役所情報公開室で販売。

◎特別展・企画展図録等

書名	発行年月	販売価格
郷土の巨匠・岩橋英遠展	7・11	1,000
江南の至宝	8・2	1,300
相模原の昆虫－身近にいる小さな昆虫たち－	8・4	350
日本の宇宙開発	8・11	1,000
段丘崖の植物－斜面緑地はいま－	9・4	200
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	9・7	2,550
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	9・11	700
相模原が海だったころ	10・7	800
浮世絵名品展	10・9	1,800

◎調査報告書等

書名	発行年月	販売価格
研究報告第７集１９９８	10・3	800
研究報告第８集１９９９	11・3	600
資料集　順席（慶応三年）	10・3	800
古山の生業と伝承	10・3	600
大島地区の自然と文化	11・3	900
相模原市作成の地図	11・3	1,000

◎展示解説書

書名	発行年月	販売価格
相模原市立博物館・常設展示解説書	9・1	1,000

（３）他の機関等との関連

ア　ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を行った。またＪＲ矢部・淵野辺・古淵駅については、市の専用掲示板を使用した。

イ　記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、その他新聞・雑誌、他博物館等へ記事・ポスターを提供した。

ウ　放送番組ロケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容

・ＴＶＫ…カラフルかながわ図鑑～ミュージアムへの誘い～

10　博物館実務実習

学芸員資格習得のための実習として、８月に13名を受け入れた。分野は考古・歴史・地理・動物・天文、期間は２週間とした。

11　博物館職員の講師派遣

市内各公民館・小中学校で実施される学級・講座等について、各施設の依頼に基づいき博物館職員を講師として派遣した。

12　資料管理

11年３月31日現在の資料点数は、以下のとおり。

博物館収蔵資料点数リスト

分　野	分　類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考　古	レプリカ	考古資料収蔵庫	1	点	
	レプリカ	自然・歴史展示室	2	点	
	土器・石器片等	考古資料収蔵庫	121	点	
	橋本遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	846	箱	
	橋本遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	190	点	
	古淵B遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	40	箱	
	中村遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	98	箱	
	田名塩田遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	425	箱	
	当麻下溝遺跡群出土土器	考古資料収蔵庫	1,865	箱	
	矢掛久保遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	95	箱	
	矢掛久保遺跡復元土器	考古資料収蔵庫	80	点	
	下九沢下作ノ口遺跡出土土器	考古資料収蔵庫	20	箱	3,783
歴　史	教科書等	古文書収蔵庫	3,248	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	4,747	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	93	点	29,828
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・大型資料収蔵庫	11,115	点	
	軍事資料		443	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,117	点	16,675
地　質	化石資料	地質資料収蔵庫等	151	点	
	岩石資料	地質資料収蔵庫等	139	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	186	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	268	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	73	点	1,150
動　物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	15,324	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	99	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	9	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	4	点	15,476
植　物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	8,493	点	8,493
天　文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,038	点	2,038
二次資料	図書・報告書等(詳細は別途)	市民研究室等	21,932	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,245	点	25,177
		合計	102,620	点	

館内収蔵美術品(社会教育課)

分　野	分　類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	377	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	6	点	
	書	美術品収蔵庫	55	点	438

二次資料（図書・報告書等）点数リスト

市民研究室		
考　古	4,565	点
歴　史	4,794	点
民　俗	1,522	点
地　理	1,414	点
地　質	905	点
動　物	778	点
植　物	285	点
芸　術	623	点
博物館	2,780	点
計	17,666	点

天文研究室		
天　文	376	点
計	376	点

情報コーナー		
図　書	3,747	点
ビデオテープ	143	点
計	3,890	点

合計	21,932	点

2　資料収集・保存

分　野	内　　容
孝古資料	発掘調査データーの収集、収蔵資料（鉄器）の保存処理
歴史資料	新規収集資料を含む、未整理資料の整理
民俗資料	市域の農具等資料の収集、整理カード化の実施
地理資料	市域の生活資料の収集・整理 収集地形図・主題図の資料カード整備と目録化。新聞資料の合本
動物資料	収集資料及び収蔵予定資料（寄贈予定資料）の整理
植物資料	植物標本の作成と整理
地質資料	岩石・化石資料の収集。寄贈資料（火山灰）の整理・データー化
天文資料	星雲・星団・太陽画像の撮影と時刻関連資料の収集・整理 パソコン通信による、国立天文台等からの画像収集

3　10年度購入資料

資料名	内　　容
地理資料	迅速測図（関東東部７３枚組）
民俗資料	鐵之図鑑他１点
天文資料	石質隕石他５点
学術雑誌	考古学ジャーナル・月刊むし・天文月報等の専門雑誌２５種（主に市民研究室で開架）
新刊書籍及びビデオソフト	市民研究室・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書を中心とした書籍54冊、ビデオ17本を購入した。

4　燻蒸の実施

受入れ資料の燻蒸を７月及び１月に実施した。

Ⅳ　調査研究

調査分野及び調査者	内　　容
考古資料の調査 木村　衡	博物館開館以後発掘された資料の調査。 収集済資料の再整理の実施。
歴史資料の調査 草薙　由美	市域近世村落を中心とした古文書等歴史資料の調査。 資料集として刊行した「順席」の追跡調査。
民俗資料の調査 加藤　隆志	大島地区石造物調査。館蔵講中道具調査。 １１年度特別展に関する資料調査。
地理資料の調査 浜田　弘明	生活用具の分類及び家電製造メーカーの社史等の調査。 大島地区の井戸及び湧水の分布についての調査。
動物資料の調査 守屋　博文	相模川水系水生昆虫生息調査…生息状況把握と二次資料化。 昆虫生息調査…大島地域の昆虫類の生息状況を明らかにした。
地質資料の調査 金井　憲一	市内の露頭調査と写真撮影、岩石・化石調査の実施。
情報資料の調査 方波見　淳	他博物館等より送付されたパンフレット等の閲覧用への整理。
天文資料の調査 杉本　芳秋 福田　茂 笠原　正則	ヘルクレス座ＡＫ星、ベルセウス座ベータ星の光電測光観測。 主要流星群の出現状況の調査。 プラネタリウムや観望会の学校・社会教育施設利用に関する調査。

平成10年度相模原市立博物館年報

平成11年８月１日
相模原市立博物館